

# 喪中はがき御注文承ります

喪中はがきは、年賀状をお出しする方が準備を始める頃（十二月上旬～中旬）迄にお届けするのが近年の通例です。間に合わない時には、年明けに寒中お見舞いをお出しくください。

喪中のため新年のご挨拶は  
失礼させていたただきます

(祖父 ○○○○ 八十八歳 四月四日永眠)

本年中のご芳情を厚く御礼申し上げますと共に  
明年も変わらぬご交誼をお願い申し上げます

令和六年十一月

〒056-0018  
北海道日高郡新ひだか町静内吉野町一丁目一十二  
蓮野楽園  
電話(0146)4210163番

喪中カラー No.A

喪中につき年末年始のご挨拶  
謹んでご遠慮申し上げます

(祖父 ○○○○ 八十八歳 四月四日永眠)

本年中のご芳情を厚く御礼申し上げますと共に  
明年も変わらぬご交誼をお願い申し上げます

令和六年十一月

〒056-0018  
北海道日高郡新ひだか町静内吉野町一丁目一十二  
天上華苑  
電話(0146)4210163番

喪中カラー No.B

拝啓 皆様にはご健勝のことと拝察申し上げます  
去る○○月○○日○○○○○○(○○歳)が  
永眠しました  
喪中につき年末年始のご挨拶を失礼させていただきます

明年も変わらぬご厚誼のほどお願い申し上げます  
尚寒さ厳しき折柄ご自愛の程お祈り申し上げます

令和六年十一月

〒056-0018  
北海道日高郡新ひだか町静内吉野町一丁目一十二  
天上華苑  
電話(0146)4210163番

喪中カラー No.C

喪中につき年末年始の  
ご挨拶失礼させていただきます

なお時節柄一層のご自愛の程お祈り申し上げます

令和六年十一月

〒056-0018  
北海道日高郡新ひだか町静内吉野町一丁目一十二  
花菊色彩  
電話(0146)4210163番

喪中カラー No.D

※文章の入替・文章の変更ができます。ご相談下さい。 「ご遠慮」は先方からの年賀状を辞退することで、「失礼」はこちらから年賀状を送りませんという意味があるとされています。しかし、あくまで挨拶文ですので、どちらが正しいということはありません。

喪中につき新年のご挨拶を  
失礼させていただきます

(祖父 ○○○○ 八十八歳 四月四日永眠)

本年中のご芳情を厚く御礼申し上げますと共に  
明年も変わらぬご交誼をお願い申し上げます

令和六年十一月

〒056-0018  
北海道日高郡新ひだか町静内吉野町一丁目一十二  
天上華苑  
電話(0146)4210163番

喪中カラー No.E

新年のご挨拶にかえて

平素はお世話になりまして誠にありがとうございます  
本年喪中につき年始のご挨拶を失礼させていただきますが  
皆様のお年賀状は楽しみにしております  
どうぞお健やかに佳き新年をお迎え下さいませ  
明年も変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます

令和6年11月

〒056-0018 北海道日高郡新ひだか町静内吉野町一丁目1-12  
TEL(0146)42-0163

天上華苑  
喪中カラー No.F

喪中のため新年のご挨拶は  
失礼させていただきます

(祖父 ○○○○ 八十八歳 四月四日永眠)

本年中のご芳情を厚く御礼申し上げますと共に  
明年も変わらぬご交誼をお願い申し上げます

令和六年十一月

〒056-0018  
北海道日高郡新ひだか町静内吉野町一丁目一十二  
花菊色彩  
電話(0146)4210163番

喪中カラー No.G

喪中につき年末年始の  
ご挨拶を遠慮申し上げます

(祖父 ○○○○ 〇〇歳 〇月〇日永眠)

本年中のご芳情を厚くお礼申し上げます  
明年も一層のご交誼の程お願い申し上げます

令和六年十一月

〒056-0018  
北海道日高郡新ひだか町静内吉野町一丁目一十二  
天上華苑  
電話(0146)4210163番

喪中カラー No.H